

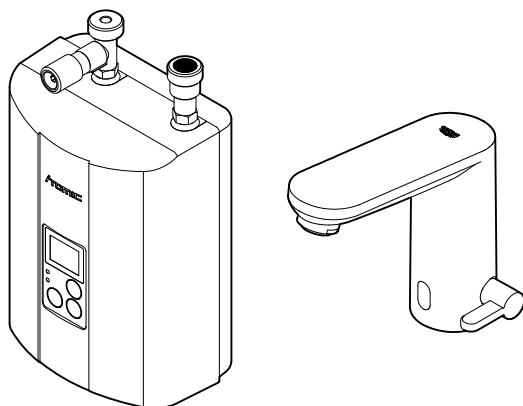
工事要領・取扱説明書

製品名：超小型電気瞬間湯沸器+水栓セット

型 式：ITG-E125ESCE

ITG-E232ESCE

ITG-E250ESCE



このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書を事前によくお読みになり、理解した上で設置・ご使用ください。
設置工事（試運転）後は、必ず本書をご使用になる方にお渡しください。
本書は、いつでもご覧になれるよう所定の場所に保管してください。

※この工事要領・取扱説明書に記載されている事項を守らずに発生した事故について、弊社は一切責任を負いません。

もくじ

共通項目	2
安全上のご注意	3
EIXについて	6
各部名称	6
仕 様	8
自動混合水栓 EUROSMA RT COSMOPOLITA N Eについて	9
各部名称	9
仕 様	9
工事要領	10
施工前にご確認ください	11
1. 部品の確認	11
2. 設置場所の確認	13
3. EIXの推奨メンテナンススペースについて	14
4. 水栓の取付寸法	15
施工する	16
1. 取付台へ水栓を設置する	16
2. 電池ケースの取付	17
3. EIXの取付	19
4. 配管工事	21
5. 電気工事	24
6. 試運転	25
7. 施工後の確認	28
取扱説明	30
使用方法	31
1. 使用前の準備と確認	31
2. 出湯する	31
3. 温度調節レバーの操作	33
4. 各種設定方法	33
5. 表示の切替方法	35
お手入れの方法	36
保守点検項目と実施の目安	36
EIX外装の清掃	36
クリーニングモード	37
水栓本体の清掃	37
泡沫コアの清掃	38
ストレーナーの清掃	38
電池交換	39
長期間使用しないときは	40
こんなときは	41
停電後の対応について	43
エラーコードについて	43
その他の表示について	44
アフターサービス	45
消耗品について	45
補修用性能部品について	45
メンテナンス契約について	45
修理をご依頼の際には	45

共通項目

安全上のご注意

本書にはお客様への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、お守りいただく事項を記載しています。設置の前に、必ず本書をお読みになり、内容をよく理解された上で設置してください。製品引き渡しの際は必ず本書をご使用になられる方にお渡しください。

この製品は以下のような方がお独りでご利用になることを意図しておりません。この製品の安全なご利用方法を理解された保護者、または介護者の補助のもとご利用ください。

・子供 ・当製品の使用において補助が必要な方 ※子供がこの製品で遊ぶことがないようにご注意ください。

警告表示の意味

本書では、取り扱いを誤った場合などの危険の程度を次の2つのレベルに分類しています。



警告 この表示の欄は、『死亡または重傷などを負う可能性が想定される』内容です。



注意 この表示の欄は、『傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される』内容です。



⊘の記号は、してはいけない行為(禁止行為)を示しています。
⊘の中や近くに、具体的な禁止内容が描かれています。
(左図の場合は『分解禁止』を意味します。)



●の記号は、しなければならない行為(強制行為)を示しています。
●の中に、具体的な指示内容が描かれています。
(左図の場合は『アース工事を行うこと』という指示です。)

重要事項:必ずお守りください

⚠ 警告



アース(D種接地)工事を確認してください。
アース工事がされないと故障や、漏電時に感電するおそれがあります。



定格電圧でお使いください。一時変動がある場合には±10%以内の環境でお使いください。
故障、火災の原因となります。

必ず電源一次側に漏電ブレーカを取り付け、動作を確認してください。
故障のまま使用すると漏電の時に感電するおそれがあります。

EIX本体は必ず給湯、給水接続口を上向きとし、壁面垂直に設置してください。
漏水、故障、発火、漏電の原因となります。

水栓の電源ケーブル、電池ケースやセンサー部に水をかけないでください。
火災、感電、誤作動の原因となります。

水栓の電源ケーブルを電池ケースに挿し込む際は根本まで十分に差し込んでください。
火災、感電の恐れがあります。

⚠ 警告

	水栓の電池ケースについたホコリは取り除いてください。 トラッキングにより、火災の原因となります。
	本製品は $800\Omega\cdot\text{cm}$ 以上の抵抗率(比抵抗)を有する水道水でご使用ください。 感電のおそれがあります。
	絶対に改造はしないでください。 火災、感電、やけどやケガの原因となります。
	屋外に設置しないでください。 感電や故障の原因となります。
	EIXの本体近くにガス類や引火物を近づけたり保管しないでください。 発火のおそれがあります。
	水が掛かったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所、特に浴室やシャワールームには設置しないでください。 腐食や感電、故障の原因となります。
	水・油・洗剤等が掛かる位置にEIX本体および電源プラグ用のコンセント(電源プラグ付機種の場合)を設けないでください。 腐食や感電、故障の原因となります。
	濡れた手でEIXの本体、水栓の電源ケーブルやケースに触れないでください。 感電のおそれがあります。
	給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分、水栓表面に直接触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	湿気の多い場所や浴室には設置しないでください。 EIX本体に水が掛かったり結露が生じる場所で使用すると故障や感電のおそれがあります。

⚠ 注意

	水栓およびEIX本体に強い力や衝撃を与えないでください。 故障や漏水の原因となります。
	機器本体および配管に乗ったり体重を掛けたり物を載せたりしないでください。 落ちてケガをしたり、漏水や故障の原因となります。
	本体設置場所周辺の温度が氷点下になる、もしくは予想される場所には設置できません。 凍結により破損、漏水の原因となります。
	機器内部にエアが入るような配管接続をしないでください。 故障の原因となります。
	水栓は首振り仕様ではありません。首振り操作はしないでください。 ゆりみにより漏水の原因となります。
	水道水(上水)以外は使用しないでください。 井戸水など使用すると腐食などにより漏水、故障、発火、感電の原因となります。
	自動水栓の吐水口に浄水器など抵抗となるものを取り付けしないでください。 漏水、故障の原因となります。

⚠ 注意	
⊘	給水接続配管は工具なしで着脱できる配管（ホースなど）で接続しないでください。漏水や故障の原因となります。
	水栓のセンサー部に障害物を置かないでください。誤作動の原因となります。
!	火災予防条例に即した離隔距離を取って設置してください。壁面損傷のおそれがあります。
	EIX本体の満水質量に十分耐えられる強度を持った壁面に垂直に設置してください。落下の原因となります。
	機器本体へ配管接続する前に配管内のゴミ（切削粉・砂・シールテープ等）を除去するため、止水栓を開きフラッシングしてください。故障や漏水の原因となります。
	給湯、給水接続配管はステンレスもしくは銅製の材質を使用してください。漏水の原因となります。
	配管に使用するパッキンはノンアスベストパッキンを使用してください。漏水の原因となります。
	水栓の温度調節レバーの操作はゆっくり行ってください。漏水の恐れがあります。
	水栓のストレーナー掃除の際は止水栓を閉めてから行ってください。故障の原因となります。
	配管は正しく行ってください。逆に配管した場合、水を出そうとしても湯が出てしまい、やけどをする恐れがあります。
	飲用する場合は、やかんなどで沸かしてからお飲みください。健康を害する恐れがあります。
	床面に防水、排水処理を施してください。水漏れが起きた場合、大きな被害につながる恐れがあります。
	規定の給水圧力（静止圧）にてご使用ください。給水圧力が0.4MPaを超える場合には減圧弁を設け、調整してください。誤動作や故障の原因となります。
	他所との同時使用により水圧変動が起こり、お湯の使用中に湯温が急上昇することがあります。やけどの恐れがありますので、水圧変動を抑えた配管設備にしてください。（分岐場所を遠くにするなど）
	満水にしてから通電してください。故障の原因となります。
	給水温度は必ず45℃以下でご使用ください。故障の原因となります。
	電源プラグを抜くときは、コードを持たずにプラグ本体を持って抜いてください。故障の原因となります。

EIXについて

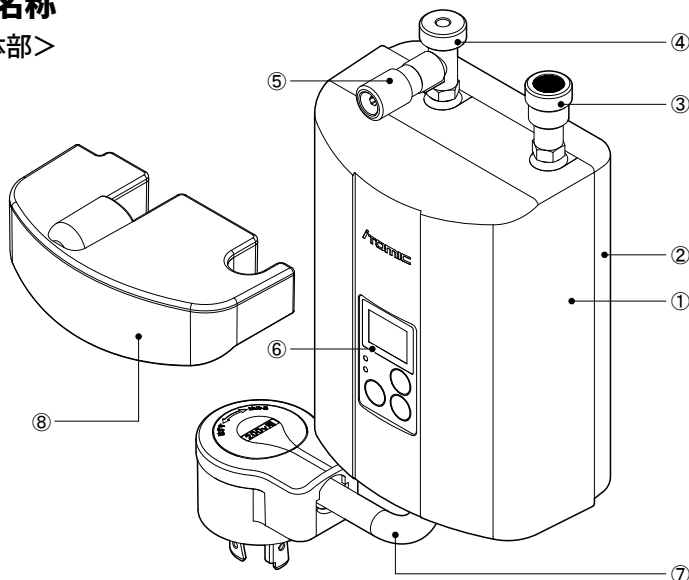
EIXは手洗いに特化した超小型の壁掛型電気瞬間湯沸器です。

通水量と水温を検知し、昇温に必要なヒーターへの電力供給を制御して、設定した温度で出湯するように水を加熱します。

(ただし、電圧降下などによる電圧変動、ヒーターの発熱量の差、使用流量、給水温度などにより設定温度を下回る場合があります)

各部名称

<本体部>

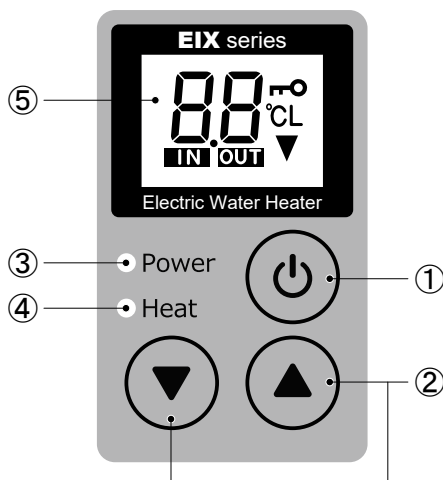


①正面ケース	②本体取付具 (付属品)	③給水接続口 (G1/2 オネジ) ※逆止弁内蔵
④給湯接続口 (G1/2 オネジ)	⑤安全弁 (設定圧力1MPa)	⑥操作部 (次ページ参照)
⑦電源コード (1m)	⑧ドレインホルダー (付属品)	

共通項目

EIXについて

<操作部>



①運転スイッチ	運転のON／OFFを切り替えるときに使用します。
②アップ／ダウンキー	設定値を上下させるときに使用します。
③運転ランプ(緑)	機器の運転中に点灯します。
④通電ランプ(赤)	ヒーター通電中に点灯します。
⑤表示部	現在温度、設定温度、流量などのパラメータを表示します。

液晶部の▼表示について

流量が加熱能力を上回った場合には、設定温度表示の右下に▼が点滅表示します。設定した温度で給湯したい場合には▼が消えるまで流量を絞る必要があります。



仕 様

型 番	EIX-125C0	EIX-232C0	EIX-250C0
標 準 電 源	単相100V	単相200V	
定格消費電力 (kW)	2.5	3.2	5.0
定 格 電 流 (A)	25.0	16.0	25.0
発生熱量 (MJ/h)	9.0	11.5	18.0
号 数 換 算 (※1)	1.4★	1.8	2.9
設定温度範囲 (°C)	約20～38		約20～45
使用流量範囲 (L/min)	約1.5～7.0(※2)		
満 水 質 量 (kg)	約2.0		
給 水 方 式	先止め式		
使用水圧 (MPa)	0.1～0.4		
一次側使用水温(°C)	45以下(凍結しないこと)		
設置環境温度 (°C)	0～40(凍結しないこと)		
機 能	連続出湯制限機能(※3)		
本 体 寸 法	幅135×高さ185.5(※4)×奥行91.5mm		
設 置 場 所	屋内		
安 全 装 置	過昇圧防止スイッチ(※5)、異常時主回路遮断装置、温度センサー異常検出、給水温度異常検出、ヒーター断線検出、制御リレー異常検出		

(※1) … 号数とは、水温から25°C上昇させた時の毎分の出湯量を表します。

(※2) … 使用流量範囲の最低流量以下では動作しません。

(※3) … 詳細はP.33参照。

(※4) … 給水、給湯接続金具、ドレインホルダーの高さは除く。

(※5) … 1.5MPaで作動し、ヒーターへの通電をストップします。

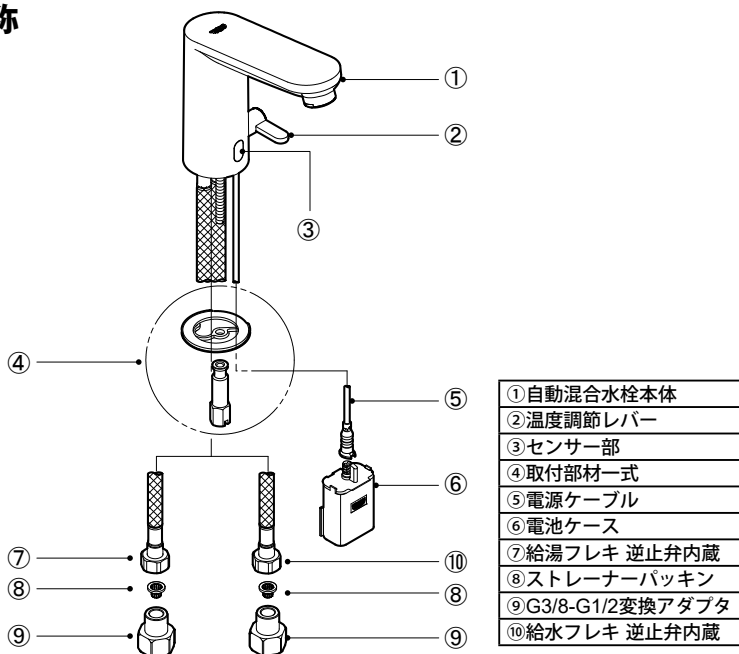
★EIXシリーズは流量が1.5L/minに到達しないとヒーターに通電しません。また、EIX-125C0は冬場（給水温度5°Cとする）は32°Cのお湯を給湯することができません。給水温度5°C・流量1.5L/minの場合、給湯可能な最大温度は約29°Cとなります。

自動混合水栓

EUROSMART COSMOPOLITAN E について

センサー部に手を近づけると吐水し、遠ざけると止水する自動水栓です。湯と水を接続し、温度調節レバーで出湯温度を任意の温度に調節できます。電源は電池式で、DC6Vリチウム電池を使用しております。(電池型式:CR-P2)
連続で水・湯を出すと約1分後自動的に止まります。

各部名称



仕 様

型 番		EUROSMART COSMOPOLITAN E
水栓タイプ		自動混合水栓
電 源		DC6V 電池式(市販品型式:CR-P2)
使用 条件	設置環境温度	0～40℃(凍結なきこと)
	水側使用水温	35℃以下(凍結なきこと)
	湯側使用水温	60℃以下(凍結なきこと)
	最低使用水圧	静止時0.1MPa(流動時0.05MPa以上を推奨)
	最高使用水圧	静止時0.75MPa
	使 用 水 質	水道水(上水道)
	設 置 場 所	屋内
重 量		約1.6kg
連続出湯時間		約60秒

工事要領

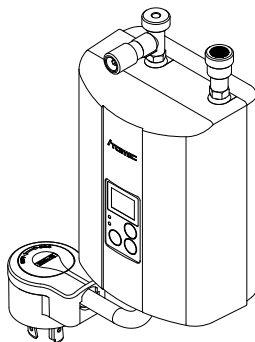
正しく取り付けるため、必ずこの手順に沿って施工してください。

施工前にご確認ください

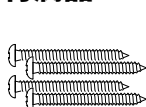
1. 部品の確認

【製品に同梱されています】

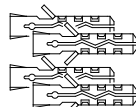
EIX本体



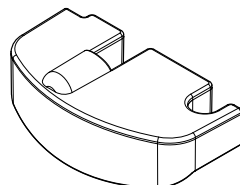
付属品



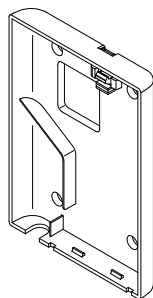
木ネジ×4



ナイロンプラグ×4



ドレイン
ホルダー



本体取付具

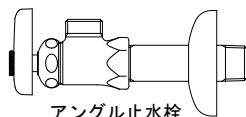


工事要領・取扱説明書×1
当冊子です。工事終了後は湯沸器を
ご使用になる方へお渡しください。

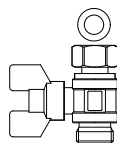
【EIX+水栓 接続部材】



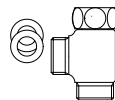
ステンレスフレキシ管(L=600)セット
(パッキン2ケ付)



アングル止水栓



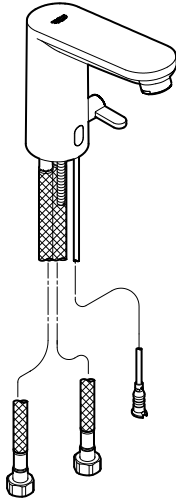
給湯側流量調整金具セット
(パッキン1ケ付)



給水チーズセット
(パッキン2ケ付)

【自動混合水栓 EUROSART COSMOPOLITAN E】

水栓本体



付属品

冊子A



冊子B



工事要領・取扱説明書×2

※当冊子はBです。冊子AはEIXと組み合わせない場合にご利用ください。

※工事終了後、ご使用になられる方へお渡しください。



プラスチックアンカー×2



取付ビス呼び3.5×30



ストレーナパッキン×2



変換アダプタG3/8-G1/2



接続パッキン×2



電池ケース一式



リミッター用ピン



パッキン×1



平パッキン



馬蹄型
ワッシャー



締結ナット



リチウム電池
型式:CR-P2

給湯温度が高く、出湯温度を制限したい場合にご利用いただく部品です。冊子Aに使用方法を記載しております。

【お客様にて必ずご手配ください】

お客様手配品 (→P.23「標準配管図」参照)

① パッキン、シールテープ

配管接続部分から漏水させないために必要です。

② 漏電ブレーカ

万一の故障や漏電した際の事故を防止します。(30mA、0.1秒)

上記手配品を必ずご用意ください。

関連商品

① 一軸型減圧弁 いちじく (iJG-K)

給水圧力が0.4MPaを越える場合は、必ず取り付けてください。

2.設置場所の確認

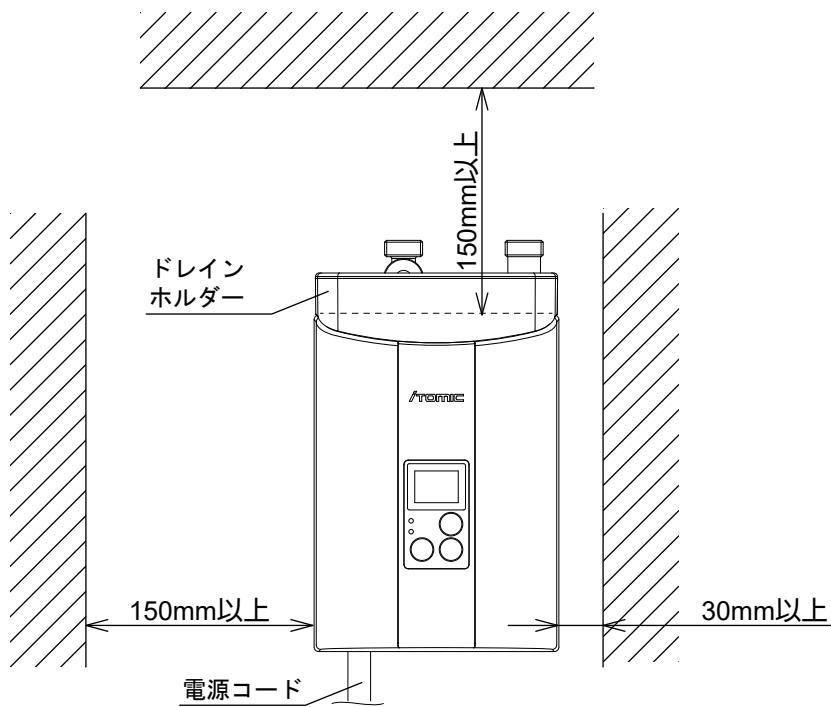
チェックリスト

項 目	チェック内容	チェック
設置環境	凍結しない場所ですか？ 凍結する場所ではご使用になれません。	☐
メンテナンス スペース	メンテナンスのためにEIX本体を取り外せるスペースは確保されていますか？(P.14参照) メンテナンススペースが取られていないと、修理やメンテナンスの際に製品を取り外すことができません。	☐
シンク・ 洗面器の形状	シンク・洗面器は水栓のセンサー部を遮るような形状ではありませんか？ 誤作動する可能性があります。	☐
取付場所	EIXを取り付ける場所は垂直な壁面ですか？ 垂直でない場合はお取り付けいただけません。	☐
	EIX上部に配管スペースが取られていますか？ 配管取付方向は上方向のみです。製品上部に配管スペースを取れない場合はお取り付けいただけません。	☐
	満水質量に耐えられる壁面ですか？ 強度が不十分な場合は補強を行うなどの対策が必要です。	☐
	水栓を取り付ける場所は水平ですか？ 水平でない場合はお取り付けいただけません。	☐
給水圧力	給水圧力は0.1MPa～0.4MPaの間になっていますか？ EIXが正しく動作しませんので、必ず上記の範囲の給水圧力があることを確認してください。給水圧力が0.4MPaを越える場合は、弊社関連商品の一軸型減圧弁 いちじく (iJG-K) を必ず取り付けてください。	☐

3.EIXの推奨メンテナンススペースについて

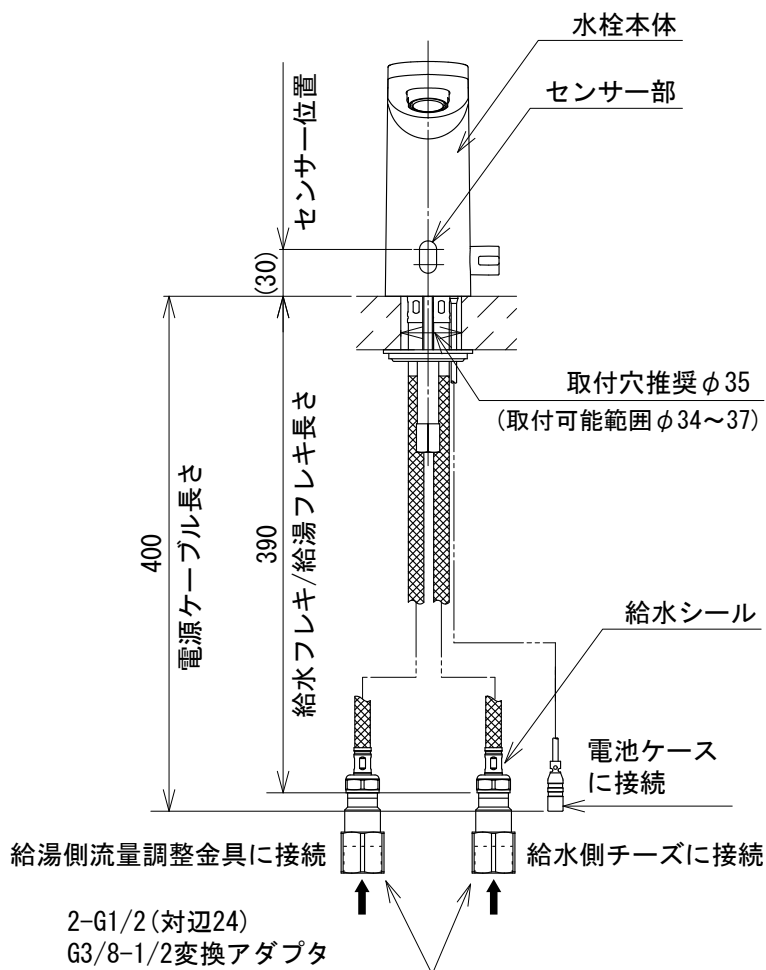
機器のメンテナンスをする際に必要なスペースは以下の通りです。

機器前方はボタン操作を行うために開放状態とし、下方は電源コードを考慮して任意のスペースを確保してください。



4.水栓の取付寸法

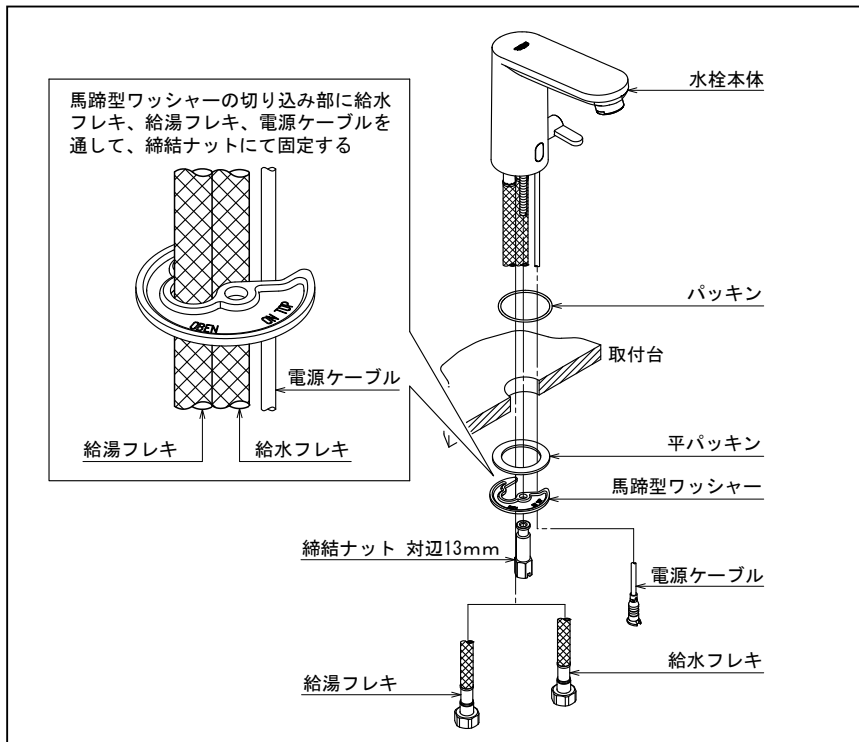
EIXと接続するために必要な寸法は以下をご確認ください。



施工する

1.取付台へ水栓を設置する

- ①給水フレキ、給湯フレキ、電源ケーブルをパッキンに通します。パッキンは水栓底面の溝につけてください。取付台の上から取付穴に給水フレキ、給湯フレキ電源ケーブルを通します。
- ②水栓本体が正面に向くように取付台にセットし、台下から平パッキンと馬蹄型ワッシャーを挿入し、締結ナットで締め付けてください。

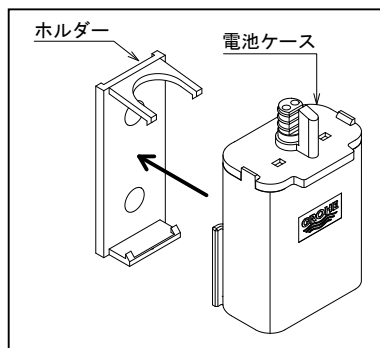


取付時の注意事項

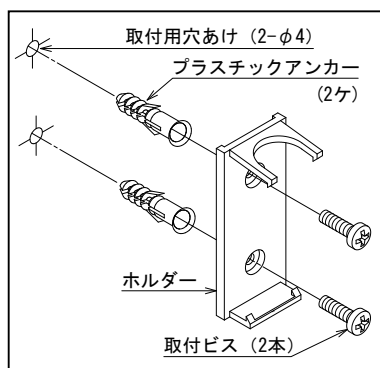
- 水栓側パッキンが水栓溝部からずれていないか確認してください。
- 平パッキンと馬蹄型ワッシャーがしっかり重なっていることを確認してください。
- 取付穴の中心に水栓本体の中心が来るように取り付けてください。
- 馬蹄型ワッシャーには上下があり、縁どりしてある平らな面、“OBEN B ON TOP”と刻印ある面が上面で、平パッキンを挟み込みます。
- 締結ナットにて固定する際、給水フレキ、給湯フレキが潰れたり、捻じれたりといった無理な力が加わらないようにしてください。
- 締結ナットにて固定する際、電源ケーブルを挟み込まないように注意してください。

2.電池ケースの取付

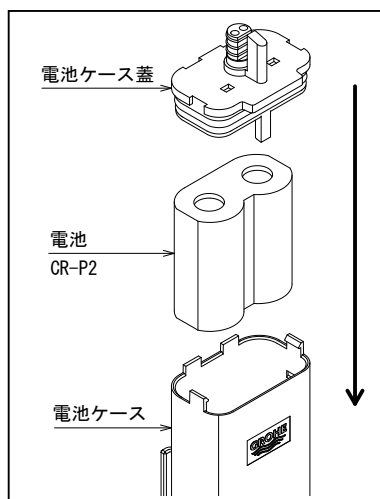
- ①ホルダーと電池ケースを分割します。



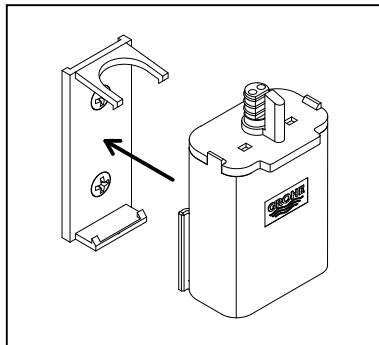
- ②取付位置に穴をあけ、プラスチックアンカーを入れます。二本爪を上面としたホルダーを取付ビスにて固定します。



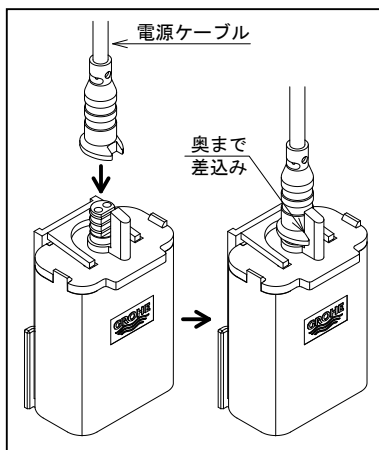
- ③電池ケースの蓋をあけて電池を入れ、蓋をします。



- ④ホルダーに電池ケースを取り付けます。下面の爪を先に掛け、上面の爪を掛けます。



- ⑤電源ケーブルを電池ケースに差し込みます。電源ケーブルの凹と電池ケースの凸を合わせ、必ず奥まで差し込んでください。



電池ケース取付時の注意事項

- 電池ケースは電源ケーブル長400mmの範囲内、かつ水が掛からず電池交換が容易な位置に設置してください。

3.EIXの取付

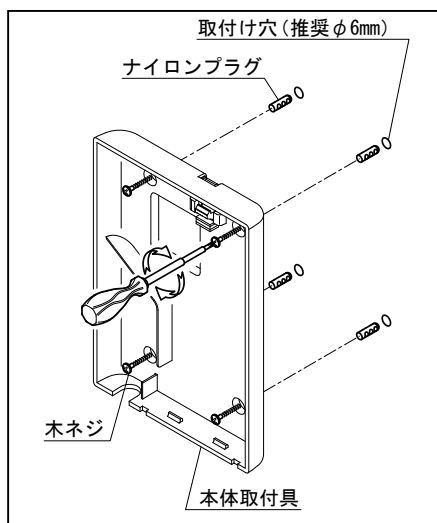
EIX本体を壁面に取り付けます。給水フレキ、給湯フレキ管(L=390mm)が給湯側流量調整金具および給水チーズに届く位置に取り付けてください。

※必ず給湯、給水接続口を上向きにして、壁面に垂直に設置してください。

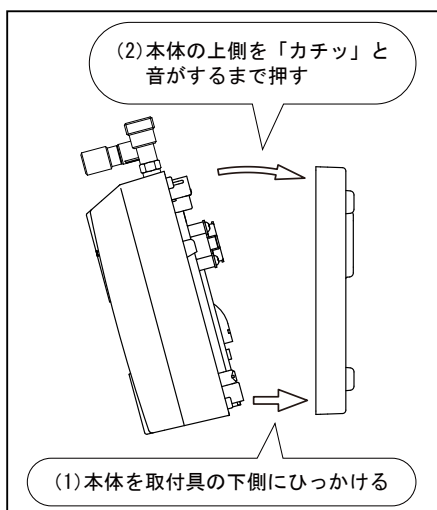
※各市町村の火災予防条例に即した離隔距離を取って設置してください。離隔距離、隠ぺい設置などについては所轄の消防署にお問い合わせください。

※本体設置場所周辺の温度が氷点下になる、もしくは予想される場所には設置できません。

- ①機器を取り付ける壁面にネジ用の印をつけます。
- ②壁面にドリルで穴(推奨φ6mm)を開け、付属のナイロンプラグを打ち込みます。
- ③付属の木ネジで本体取付具を固定します。

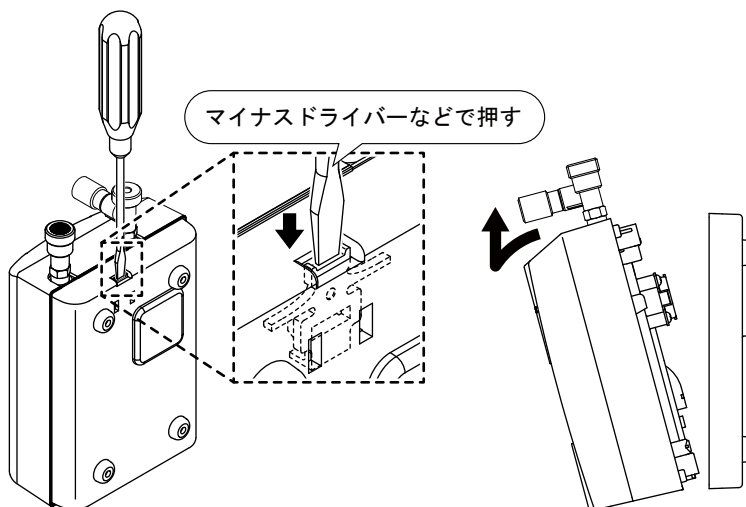


- ④EIX本体を本体取付具に置き、本体上側を「カチッ」と音がするまで押し込みます。

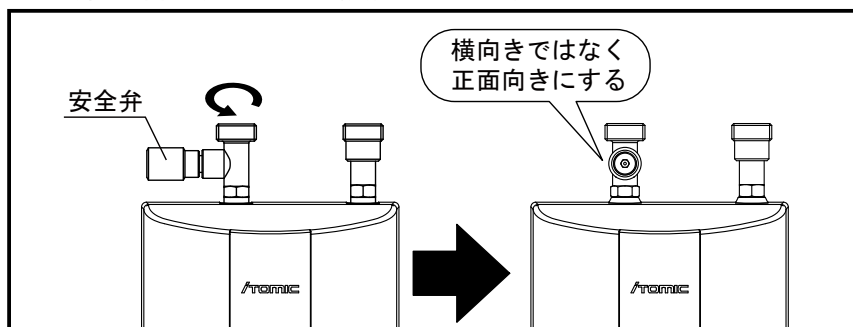




取り外す場合は、本体取付具の上部にある凹の部品をマイナスドライバーなどで押し込み、本体を支えながら取り外します。

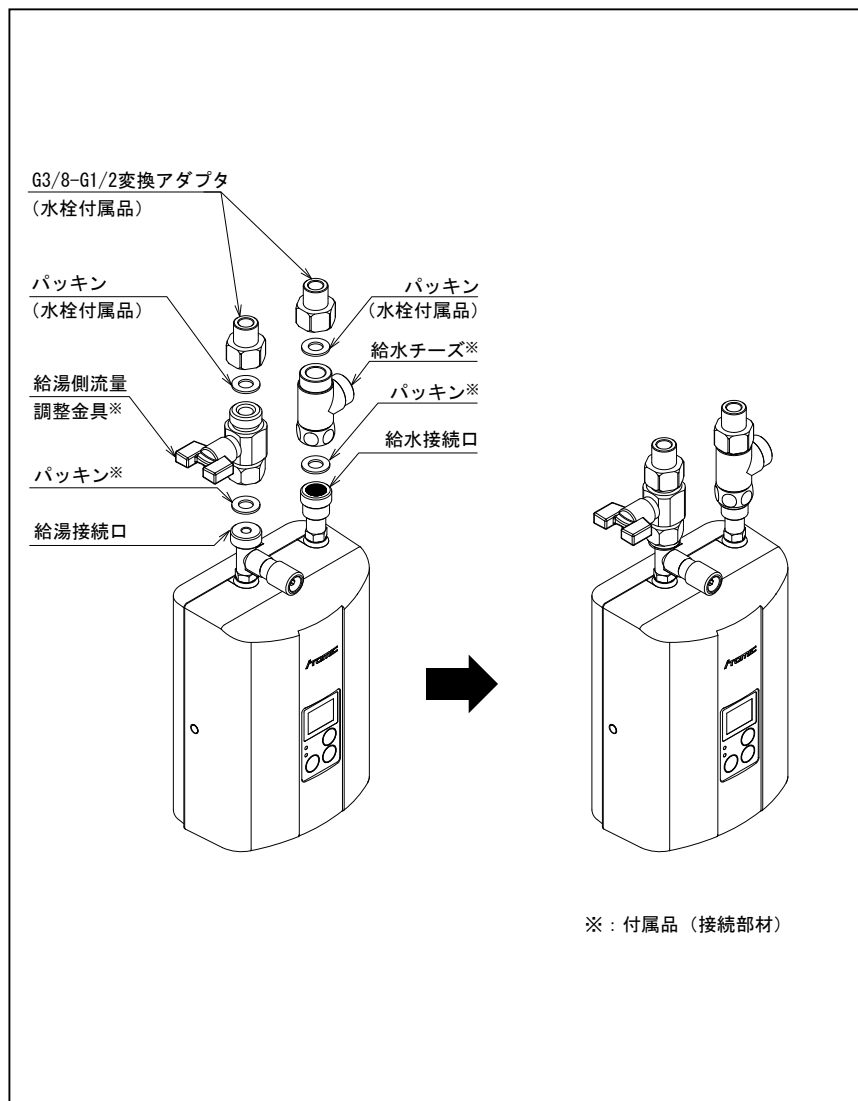


⑤安全弁が正面を向くように給湯接続口を回して調整します。

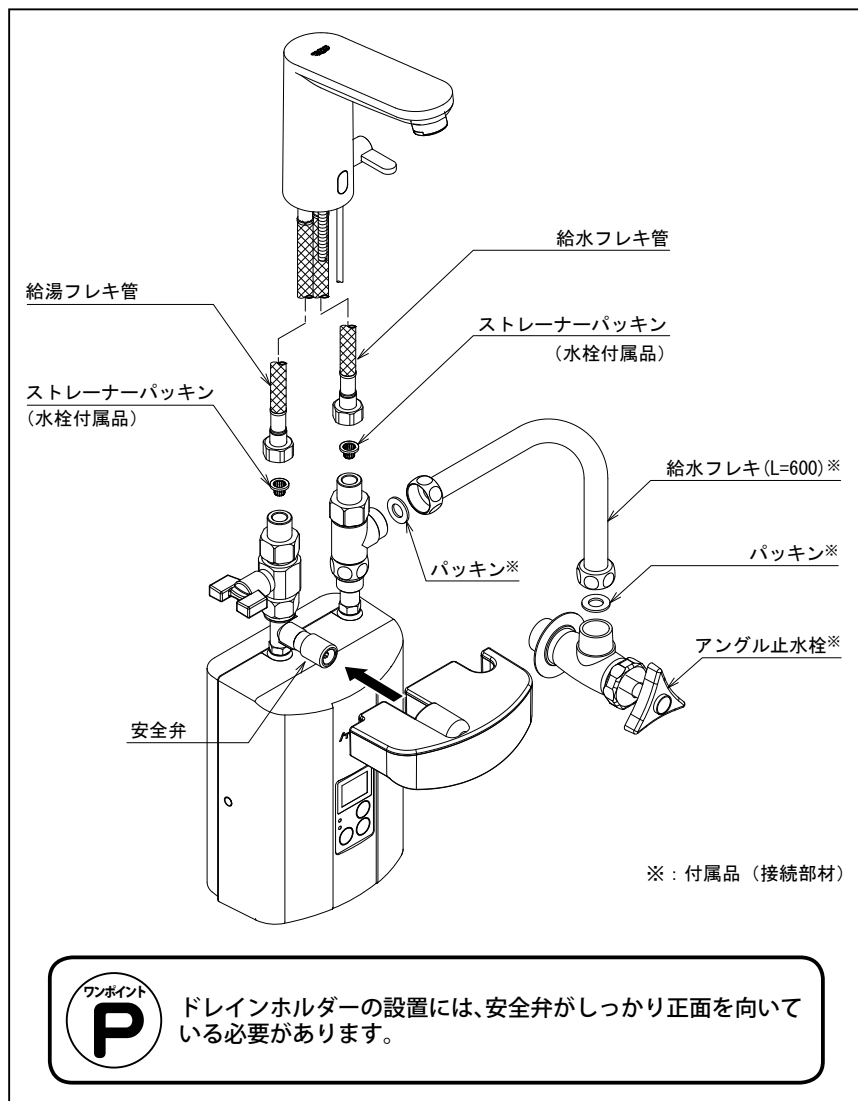


4.配管工事

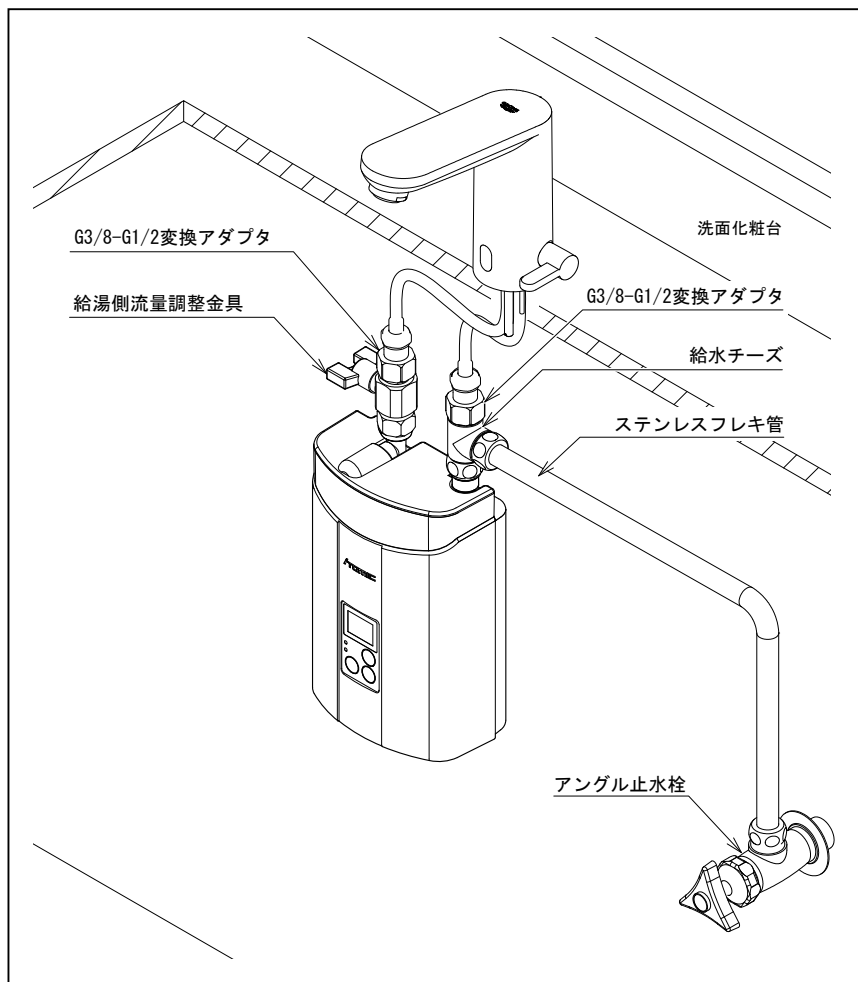
- ① 給水一次側に付属品のアングル止水栓を取り付けてください。
 (※給水圧力が0.4MPaを越える場合は、別途減圧弁を設けるか、弊社関連商品『一軸減圧弁いちじく (iJG-K)』を必ず取り付けてください。)
- ② 給水および給湯接続口に取り付けられているキャップを取り外した後、EIXの給水接続口に付属品の給水チーズとG3/8-G1/2変換アダプタ、給湯接続口に付属品の給湯側流量調整金具とG3/8-G1/2変換アダプタを取り付けてください。



- ③ 水栓の給湯フレキ管をEIXの給湯側へ、給水フレキ管をEIXの給水側へそれぞれ取り付けてください。
- ④ 給水・給湯フレキ管とEIX側のG3/8-G1/2変換アダプタの間には水栓付属のストレーナーパッキンを入れます。
- ⑤ 付属品のアングル止水栓と給水フレキ (L=600) をEIXに接続してください。
- ⑥ ドレインホルダーを安全弁に被せるように正面からはめ込みます。



標準配管図

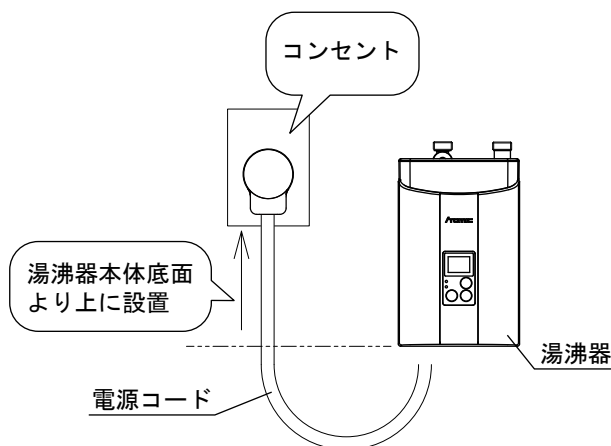


5.電気工事

①電源一次側にお客様手配品の漏電ブレーカを取り付け、D種接地工事を行ってください。

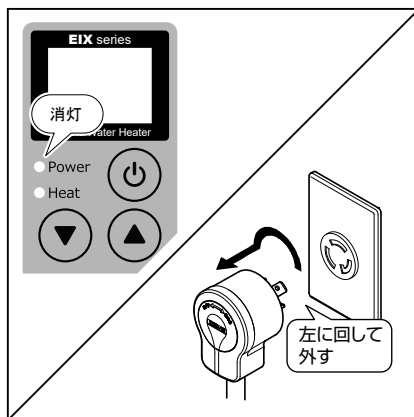
注意！

- 電源コードが破損した場合は、技術者による交換が必要となります。ご依頼はアフターサービス窓口までご連絡ください。
- 漏水などにより電源コードを伝った水が浸入しないよう、コンセントは湯沸器本体底面より上に設置してください。

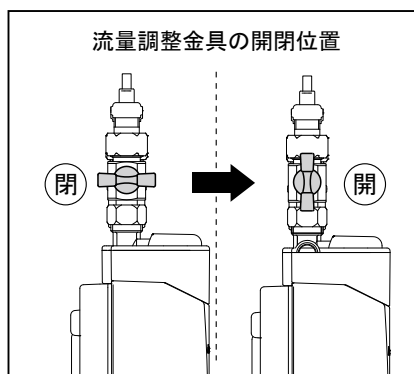


6. 試運転

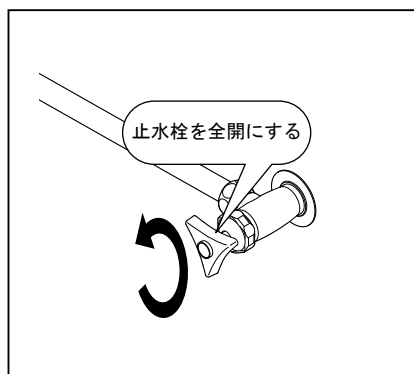
- ① 運転ランプ（緑色）が消灯、電源プラグが外れていることを確認してください。



- ② 流量調整金具を全開にします。



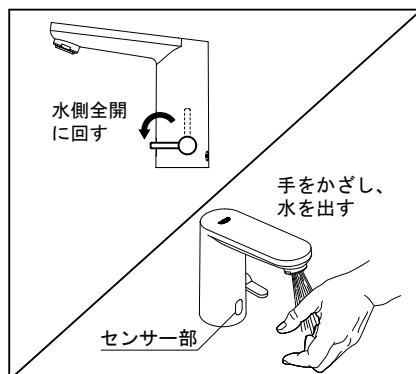
- ③ 止水栓を全開にします。



- ④温度調節レバーを水側全開に回し、センサー部に手をかざすか障害物を置いて水を出してください。

最初は空気を含んだ水が出ますので、空気を含まなくなるまで継続して水を出してください。

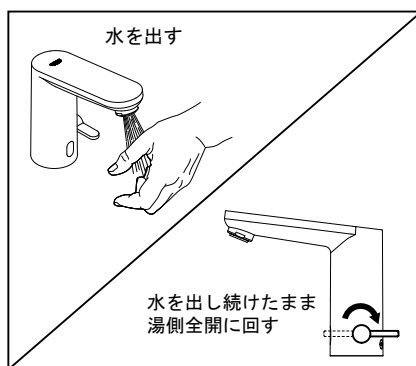
※約60秒連続でセンサーが手もしくは障害物を感知すると止まりますが、その際は一度センサーから外し、再度感知させると再び水が出ます。



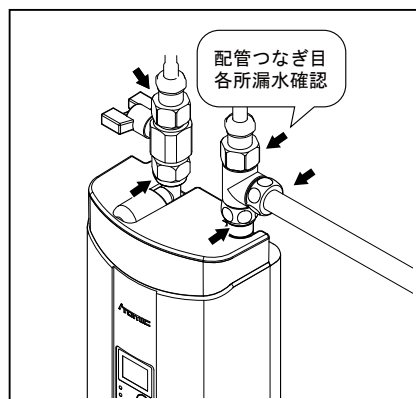
- ⑤空気を含まない水になったら、水を出し続けたまま温度調節レバーを湯側全開に回します。

最初は空気を含んだ水が出ますので、水側と同様に空気を含まなくなるまで水を出し続けてください。

空気を含まなくなったらセンサーから手もしくは障害物を外し、止水します。



- ⑥配管のつなぎ目をチェックし、漏水がないことを確認してください。



- ⑦電源プラグをコンセントに差し込んで、一次側の漏電ブレーカをONにします。
- ⑧運転スイッチを押して運転状態にします。(緑色のランプが点灯します)
- ⑨水栓の温度調節レバーが湯側全開にあることを確認し、水を出してください。
- ⑩30秒以上流し続け、水温が上昇することを確認できれば正常です。(→P.32出水・出湯時の注意事項をご参照ください)

※流量が少ない場合(1.5L/min未満)は通電せず、水温は上昇しません。以下⑪⑫を参考に流量を調整してください。



- ⑪水栓の流量を確認します。

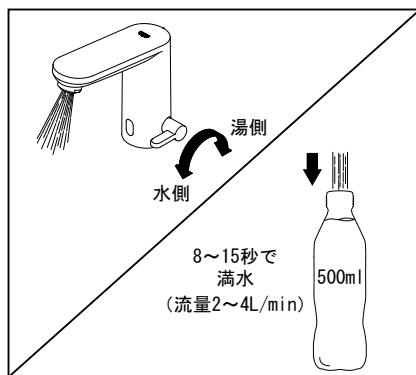
温度調節レバーを水側全開位置にし、センサー部に手をかざし、水を出します。推奨流量は約2～4L/minです。

流量2～4L/minの間で好みの流量に水側止水栓にて調整してください。

※500mlペットボトルで流量調整が可能です。下表をご参照ください。

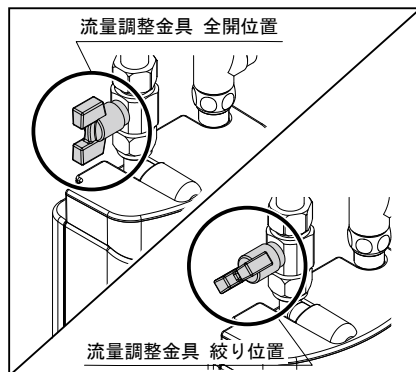
ペットボトルで計測する場合の流量の目安

流量 (L/min)	500mlペットボトルの満水時間
2	約15秒
3	約10秒
4	約8秒



- ⑫EIXの給湯接続口に取り付けた給湯側流量調整金具にて流量を調整します。推奨流量は約2L/minです。

EIXの流量表示 (P.35) を確認しながら2L/minになるように給湯側流量調整金具にて調整してください。



7.施工後の確認

チェックリスト

項 目	チェック内容	チェック
設置工事	EIXは垂直な壁面にしっかり固定されていますか？ 固定が不十分な場合、落下や故障の原因となります。	☐
	メンテナンスのためにEIXを取り外せるスペースは確保されていますか？ (P.14参照) メンテナンススペースが取られていないと、修理やメンテナンスの際に製品を取り外すことができません。	☐
	水栓にがたつきはありませんか？ 固定が不十分な場合、落下や故障の原因となります。	☐
	電池ケースは水がかからない位置にありますか？ 水がかかる場合はかからない位置に取り付け直してください。	☐
	水栓の電源ケーブルと電池ケースはしっかり接続させていますか？ 奥までしっかり接続されていないと、接触不良により動作が不安定になり、故障・火災の原因になります。	☐
配管工事	各配管接続部分から漏水していませんか？ 漏水している場合は、接続部分を締め直してください。	☐
	ストレーナーの中にゴミ詰まりはないですか？ ストレーナー内が詰まっていると、十分に流量が出ない場合があります。	☐
	水栓の温度調節レバーを湯側全開で出湯すると水温が上昇しますか？ お湯が出ない場合は、試運転をやり直してください。(P.25『試運転』参照)	☐
	目的の流量が確保できていますか？ できていない場合は再度各止水栓を調整してください。	☐
電気工事	定格電圧でお使いください。一時変動がある場合には±10%以内の環境でお使いください。 電圧が範囲内に収まっていないと、性能を十分に発揮できない場合や、故障・火災の原因にもなります。	☐
	アース(D種設置)工事を確認してください。 アース工事がされないと故障や漏電時に感電するおそれがあります。	☐
	漏電ブレーカの動作を確認してください。 故障のまま使用すると漏電時に感電するおそれがあります。	☐
その他	給水圧力は0.1MPa～0.4MPaの範囲内ですか？ EIXが正しく動作しませんので、必ず上記の範囲の給水圧力があることを確認してください。給水圧力が0.4MPaを越える場合は、弊社関連商品『一軸減圧弁いちじく (IJG-K)』を必ず取り付けてください。	☐
	ドレインホルダーに水が溜まっていませんか？ 給水圧力が高いと止水時に安全弁から水が吹き出す場合があります。給水圧力が0.4MPaを越える場合は、弊社関連商品『一軸減圧弁いちじく (IJG-K)』を必ず取り付けてください。	☐

取扱説明

正しく安全にお使いいただくため、必ずお読みください。

使用方法

1.使用前の準備と確認

ご使用の前に次の事をご確認ください。

チェックリスト

項目	チェック内容	チェック
本体まわり	止水栓は開いていますか？	☐
	水栓にがたつきはありませんか？	☐
	各配管、継手に漏水はないですか？	☐
	電池ケースと電源ケーブルは接続していますか？	☐
	近くにガス類や引火物がないですか？	☐
	EIX本体の上に物などを載せていませんか？	☐
	安全弁が吹き出していないですか？	☐

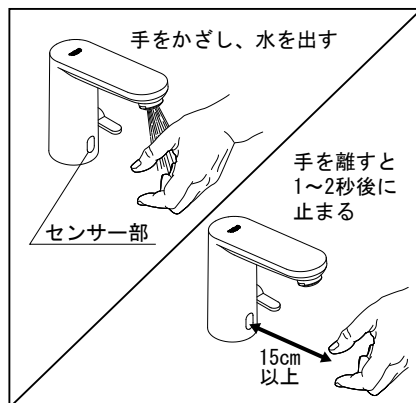
2.出湯する

- ①電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ②運転スイッチを押して運転状態にします。(緑色のランプが点灯します)



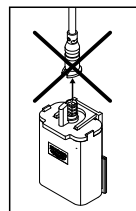
- ③水栓本体根元部にあるセンサーに手を近付けると水・湯が出ます。センサーから15cm以上手を離すと1～2秒後に止まります。

※水・湯を出し続けた場合、約60秒後に止まります(節水機能)。再度使用したい場合は手を一度左右に振るか遠ざけ、再度近付けてください。節水機能は解除出来ません。



出水・出湯時の注意事項

- EIXには通水量を検知するフローセンサーが組み込まれており、水栓を開いて流した水量を検知することでヒーターへの通電を開始し、お湯を沸かします。
- 一次側の電源をONにしたあとの1回目の運転では、30秒以上の通水がされないとヒーターへの通電を行いません。
- 使用中に出湯量(流量)が毎分1.5L/min未満になるとヒーターへの通電がストップし、お湯になりません。
- 他の給水による水圧変化や水栓の絞りすぎにはご注意ください。
- 自動水栓の温度調節レバーを湯側全開にしないと、EIXに十分な流量が流れません。
- 夏場などで長期間お湯を使用しない場合や、水のみをご使用したいときは運転をOFFにしてください。
- センサーの反応範囲は直線的で角度はありません。
- 水・湯を出し続けたまま電池ケースを外すと節水機能が効かなくなり、止水できなくなります。



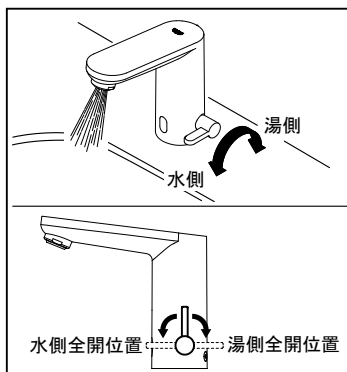
3.温度調節レバーの操作

温度調節レバーを回すことにより、湯水の混合比率を変化させ、出湯温度の調整ができます。

手前が水側、後方が湯側になります。

レバー操作時の注意事項

- 温度調節レバーを湯側全開でも少量の水が混ざるため、EIXの設定温度より低い温度が出湯されます。
- EIXの設定温度は最大にし、自動水栓の温度調節レバーにてお好みの温度に合わせて頂くことを推奨いたします。



4.各種設定方法

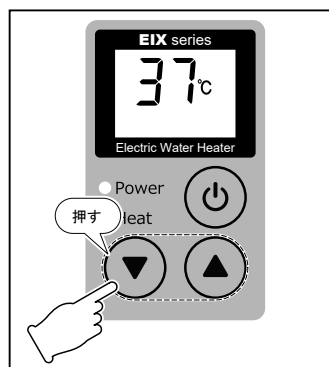
設定温度を変更する

設定温度は操作部のアップキーまたはダウンキーを利用して変更します。

機種ごとに定められた設定温度の範囲内で、1℃刻みで設定可能です。

アップキー:押すことに設定温度を1℃上げます。

ダウンキー:押すことに設定温度を1℃下げます。



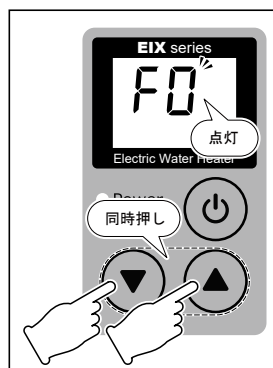
最大出力値・連続運転ON時間を変更する

最大出力値と連続運転ON時間を変更することが可能な機能です。(Fモード)

変更する場合は、下記の手順に従ってください。

- ①アップキーとダウンキーを同時に3秒以上長押しします。F0が点灯したら設定可能です。
- ②アップキーまたはダウンキーを押すことで「F0」「F1」「F2」が順番に表示されます。

各モードの意味	F0:設定値初期値に戻す F1:最大出力値設定変更 F2:連続運転ON時間変更
---------	---



※運転ON(緑ランプ点灯)/運転OFF(赤ランプ点灯)のどちらの状態でも設定することが可能です。

〈Fモードの各種設定変更方法〉

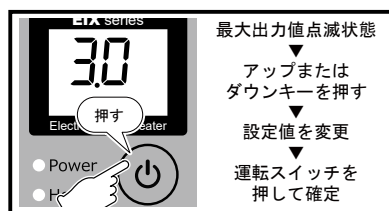
● F0の設定 (設定を初期値に戻す場合)

F0が表示された状態で運転スイッチを押すと、各種設定が初期値 (工場出荷時) になります。画面表示は設定温度表示画面に戻ります。



● F1の設定 (最大出力値を変える場合)

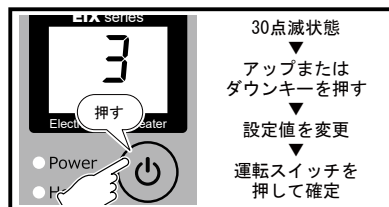
F1が表示されている状態で運転スイッチを押すと、機種ごとの最大出力値が点滅します。アップキーまたはダウンキーを押して、0.5kWずつ数値を変更可能です。運転スイッチを押すと確定し、設定温度表示画面に戻ります。



※3kWに設定した場合

● F2の設定 (連続運転ON時間設定変更)

F2が表示されている状態で、運転スイッチを押すと30 (初期値・30分設定) が点滅します。アップキーまたはダウンキーを押して、1ずつ (1分ずつ) 数値を変更可能です。運転スイッチを押すと確定し、設定温度表示画面に戻ります。



※3分に設定した場合



自動水栓は出湯し続けた場合、約60秒で停止する仕様となっていますので、連続運転ON時間の設定変更は必要ありません。

スイッチロック

いたずらや誤操作を防止するため、操作キーを全てロックさせる機能です。運転中、運転停止中どちらでもロックさせることが可能です。

※スイッチロック中にエラーが発生した場合には自動的にロックが解除されます。

また、停電からの復帰後はスイッチロックが継続されます。

- ① 運転スイッチを3秒間長押しします。
鍵マーク表示が出て操作をロックします。

スイッチロックを解除する場合は、再度運転スイッチを3秒間長押ししてください。

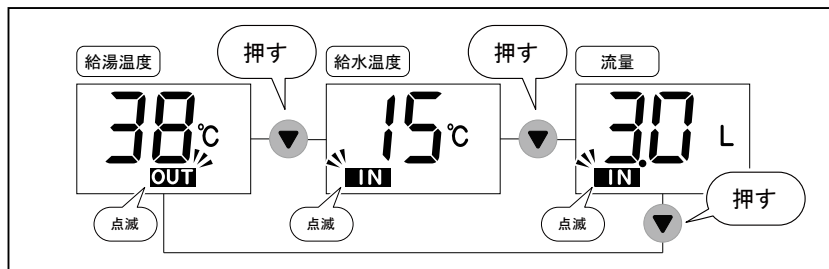
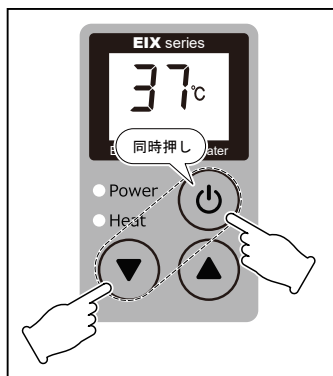


5.表示の切替方法

本機器には、フローセンサー（流量）、給水サーミスタ（給水温度）、給湯サーミスタ（給湯温度）が搭載されており、以下の手順で各種情報を確認することができます。

- ① 運転スイッチとダウンキーを同時に3秒以上長押しします。

- ② 現在状況の確認モードに移行し、現在の給湯温度を表示します。
ダウンキーを押すたびに表示が切り替わり、以下の順に表示されます。
給湯温度→給水温度→流量→給湯温度→・・・



- ③ 運転スイッチを押す、または30秒間無操作で初期画面に戻ります。

お手入れの方法

保守点検項目と実施の目安

点検項目	点検内容	点検の目安
重要 安全弁の確認	ドレインホルダーに水が溜まっていないか確認してください。	1回／日
漏水全般についての点検	EIX本体および各配管接続部から漏水のないことを確認してください。	
コードおよびプラグ	コードが熱を持っていないこと、損傷および劣化していないこと、プラグの締め付け部にゆるみなどの異常がないことを確認してください。トラッキング現象による火災防止のために一次側ブレーカをOFFにし、コンセント周囲やプラグを乾いた布等で清掃してください。	1回／月
水栓のガタツキ	水栓がぐらぐらしないか確認してください。	1回／月
温度調節レバーの確認	操作が固くないか動かして確認してください。	
センサー表面	表面が汚れていないか確認してください。汚れていた場合手を感知しにくくなるため、表面を拭いてください。	

EIX外装の清掃

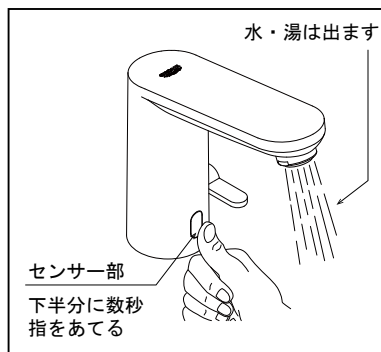
水に浸して固く絞った布で、汚れがひどいときは適量に薄めた中性洗剤に浸して固く絞った布で拭いてください。薬品やクレンザーなどは使用しないでください。

クリーニングモード

水栓を掃除する際、センサーが反応して水・湯を出してしまわないように3分間センサーを無効にするモードです。

- ①センサーの下半分に数秒間指をあててください。

※この時は水・湯は出ます。

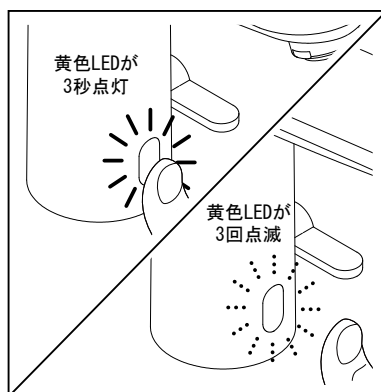


- ②センサー部の黄色LEDが3秒ほど点灯したのち、3回点滅します。

点滅終了後、3分間のクリーニングモードに入り、センサーに手をかざしても水・湯は出なくなります。

※クリーニングモード中は黄色LEDが短い点滅を繰り返します。

※クリーニングモードは3分後に自動的に解除されます。



水栓本体の清掃

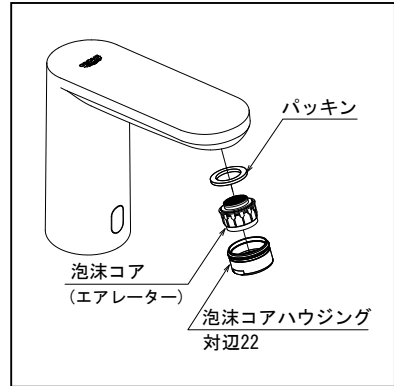
クリーニングモードにした後、水に浸して固く絞った布で拭いてください。汚れがひどいときは適量に薄めた中性洗剤に浸して固く絞った布で拭いてください。清掃の際、以下のものは使用しないでください。

- たわし ●ナイロンたわし ●アルカリ性洗剤 ●酸性洗剤 ●塩素系洗剤
- シンナー・ベンジン ●油 ●クレンザーや粗い粒子を含む洗剤

泡沫コアの清掃

泡沫コア(エアレーター)のゴミつまりは機能を低下させます。定期的に以下の手順にて清掃してください。

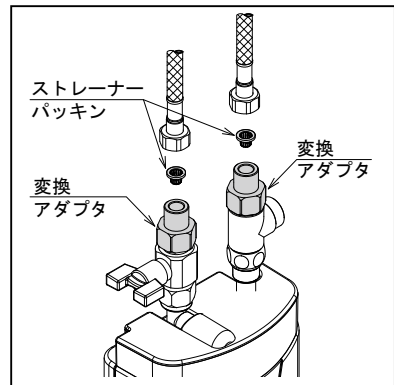
- ① 止水栓を閉めます。
- ② 泡沫コアハウジングを対辺22スパナ、もしくはモンキーレンチなどで緩めてください。
- ③ 泡沫コアを取り出し、ブラシなどでゴミを取り除いてください。



ストレーナーの清掃

設置直後はシールテープなどのゴミがストレーナーに付着しやすいです。各止水栓をあけても流量が確保できないなどの問題がありましたら以下手順にてストレーナーパッキンを確認してください。

- ① 止水栓を閉め、センサー部に手をかざして水を出し、内部の水圧を開放してください。
- ② 給水フレキ、給湯フレキの袋ナットを緩めてください。
- ※ 変換アダプタが緩まないように、変換アダプタを工具で挟みながら袋ナットを緩めてください。
- ③ ストレーナーパッキンを取り出し、ゴミがあればブラシ等で取り除いてください。

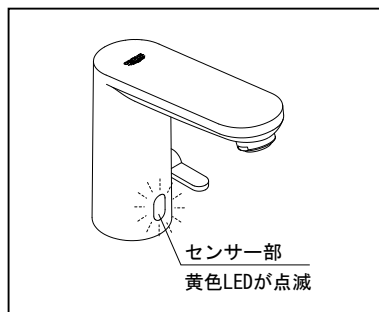


ストレーナー清掃時の注意事項

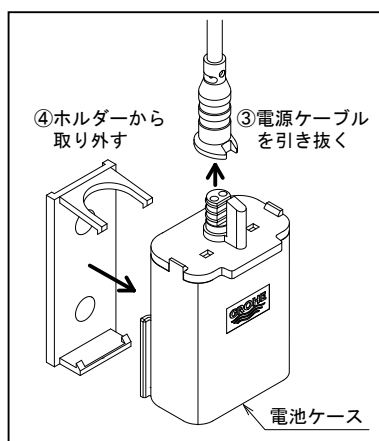
- ブラシでゴミを取り除く際、ストレーナーに傷を付けないように注意してください。ストレーナーに傷が付くと、水が漏れる可能性があります。

電池交換

水栓の電池が消耗するとセンサー部の黄色LEDが点滅します。点滅を確認したら、下記手順にて交換してください。

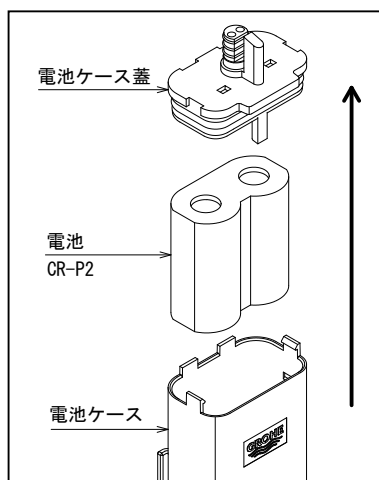


- ①止水栓を閉めます。
- ②センサー部に手をかざして水を出し、内部の水圧を開放してください。
- ③電源ケーブルを電池ケースから引き抜いてください。
- ④ホルダーから電池ケースを取り外してください。



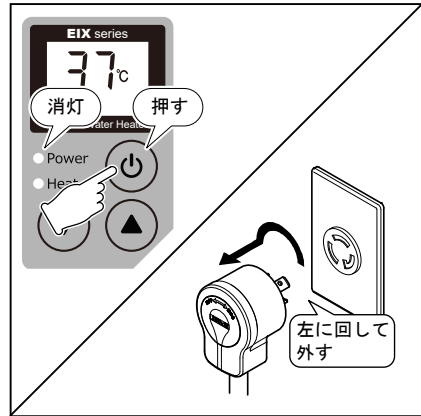
- ⑤電池ケース蓋を上引き抜き、内部の電池を交換してください。

※電池の型式は「CR-P2」です。家電量販店などで入手可能です。

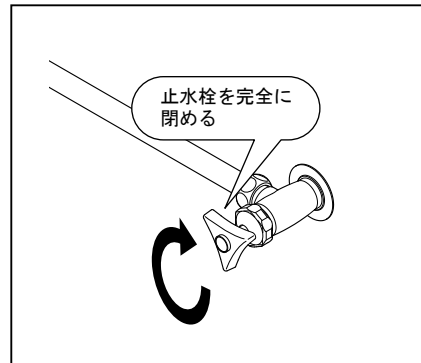


長期間使用しないときは

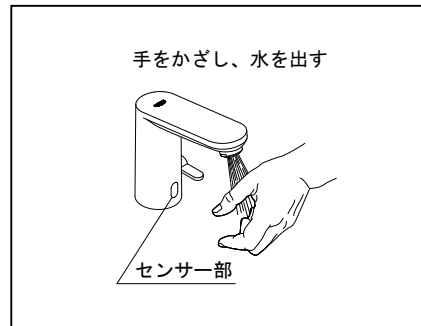
- ① 運転スイッチを押して運転OFF状態にします。(緑色のランプが消灯します)
- ② 電源プラグを抜きます。



- ③ 止水栓を閉め、給水を止めてください。
※水のみでご使用を続ける場合には、止水栓を開けたままにしてください。



- ④ センサー部に手をかざして水を出し、内部の水圧を開放します。



こんなときは

正しく運転しない場合や、不調な際の修理で依頼の前にご確認ください。

状況	ご確認ください	対処方法
水・湯の出が悪い (悪くなってきた)	泡沫コアやストレーナー パックンにゴミが詰ま っていませんか？	お手入れ方法に従ってゴミを取り除いてくだ さい。(→P.37)
水もお湯も出ない または出が悪い	断水ではありませんか？	水道局へお問い合わせください。断水中は使用 できませんので、断水が終了するまでお待ちく ださい。断水が終了した後、お湯が濁っているよ うな場合には濁りがなくなるまで出し続けて ください。
	止水栓が閉まっていますか？	閉まっていたら開けてください。(→P.25)
	泡沫コアやストレーナー パックンにゴミが詰ま っていませんか？	お手入れ方法に従ってゴミを取り除いてくだ さい。(→P.37)
	給水圧力が低すぎませ んか？	EIXが適切に運転するためには、給水圧力が 0.1MPa以上必要です。給水圧力が低い場合は 管理技術者の方へご相談ください。
	配管は正しく行われて いますか？	給水圧力が適切でも配管方法によって出が悪 くなる場合があります。配管が正しく行われて いるか管理技術者の方へご相談ください。
	配管が凍結していません か？	凍結する場所ではご使用できません。
適温の温度調節 がスムーズにでき ない	泡沫コアやストレーナー パックンにゴミが詰ま っていませんか？	お手入れ方法に従ってゴミを取り除いてくだ さい。(→P.37)
お湯が出ない (水のままだ、また はぬるい)	停電ではありませんか？	電気の復旧をお待ちください。(→P.43)
	一次側の漏電ブレーカが OFFになっていま せんか？	一次側の漏電ブレーカをONにしてください。 漏電や電気容量オーバーの可能性がある場合 は使用せずに管理技術者の方へご相談くだ さい。(→P.27)
	運転がOFFになっていま せんか？	運転をONにしてください。(→P.31)
	電源プラグは確実にコンセ ントに挿し込んであります か？	電源プラグを確実にコンセントに挿し込んでく ださい。
	電源が入った直後ではあ りませんか？	電源が入った直後は、すぐお湯になりません。 P.25『試運転』を参照してください。
	給水圧力が低すぎませ んか？	EIXが適切に運転するためには、給水圧力が 0.1MPa以上必要です。給水圧力が低い場合は 管理技術者の方へご相談ください。
	水と湯の圧力差が大き すぎませんか？	水栓の温度調節レバーを水側全開位置にした 時の流量と湯側全開位置にした時の流量が同 程度の流量差に止水栓にて調整してください。

状況	ご確認ください	対処方法
お湯が出ない (水のまま、またはぬるい)	水栓に供給される湯温が低すぎませんか？	EIXの最高温度設定でのご利用を推奨します。
	出湯量(通水量)が少なくありませんか？	EIXが適切に運転するための最低出湯量(通水量)は1.5L/min以上です。これ未満の場合、運転が行われません。管理技術者の方へご相談いただき、水栓、止水栓を調整してください。
	水栓の泡沫コアやストレーナーパックにゴミが詰まっていますませんか？	お手入れ方法に従ってゴミを取り除いてください。(→P.37)
	電圧を間違えていませんか？	200Vの機種を100Vに入れると能力が低下し、ほとんどお湯になりません。電圧を確認してください。
	設定温度が低くありませんか？	設定温度を希望の温度に設定してください。(→P.33)
	給水温度が低すぎませんか？	機器能力以上の出湯はできません。(→P.8)
完全に止水できない	出湯量(通水量)が多すぎませんか？	機器能力以上の出湯はできません。P.8『仕様』をご確認ください。管理技術者の方へご相談いただき、水栓、止水栓を調整してください。
	電磁弁にゴミが挟まっていますませんか？	何度かセンサーに手をかざし、出湯と止水を繰り返してください。(→P.32)
	水栓の電源ケーブルが外れていませんか？	電源ケーブルを電池ケースに繋ぎなおしてください。(→P.18)
	水栓の電池が切れていませんか？	電池交換をしてください。(→P.39)
センサー検知が出来ない、水が止まらない	電磁弁にゴミが挟まっていますませんか？	何度かセンサーに手をかざし、出湯と止水を繰り返してください。(→P.32)
	水栓のセンサーの前に障害物はありませんか？	ある場合は障害物を取ってください。
	断水や水道工事の直後ではありませんか？	濁りがなくなるまで出し続けてください。
濁ったお湯が出る	配管が腐食していませんか？	配管のサビ等による赤水が続く場合は管理技術者の方へご相談ください。
	EIX本体からの漏水ですか？	止水栓を閉め、プラグを抜いてください。アフターサービス窓口までご連絡ください。
漏水している	配管接続部からの漏水ですか？	配管接続部を締め直してください。
	給水圧力が高くありませんか？	給水圧力が0.4MPaを越える場合は、弊社関連商品『一軸減圧弁いちじく(iJG-K)』を必ず取り付けてください。
ドレインホルダーに水が溜まっている	エラーコード(E1またはE9など)が出ていませんか？	エラーコードが出ている場合には、P.43『エラーコードについて』を参照し、対処してください。エラーコードが出ていない場合でも設置環境や配管などの影響により、繰り返し使用時に設定温度よりも高い温度で出湯する場合がありますが、故障ではありません。

これらの対処を行っても改善されない場合は、アフターサービス窓口までご相談ください。

停電後の対応について

停電後の最初の運転では、30秒以上の通水がされないとヒーターへの通電を行いません。停電後は、停電が起こったときの運転状態で復帰します。

運転中に停電が起きた場合は運転ON状態で、運転停止中に停電が起きた場合は運転OFF状態で復帰します。

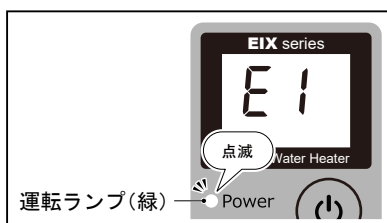
また、設定温度やスイッチロックの機能も維持したまま復帰します。

エラーコードについて

EIXに異常が発生すると運転ランプ(緑)が点滅し、エラーコードが点滅表示されます。

下表を参照し、対処してください。

対処後にもエラー発報が頻発・連続する場合には、アフターサービス窓口にご連絡ください。



エラーコード	機器の状態	対処方法
E1	給水温度が高くなっています。 (45℃以上)	一次側の給水温度を確認してください。 給水温度が45℃未満になったことを確認してから運転スイッチを押してエラーをリセットし、もう一度運転スイッチを押して動作を確認してください。
E2	給水温度もしくは給湯温度が高くなっています。 (50℃以上)	一次側の給水温度を確認してください。 給水温度が45℃未満になったことを確認してから運転スイッチを押してエラーをリセットし、もう一度運転スイッチを押して動作を確認してください。
E3	ヒーターが異常加熱している可能性があります。	製品故障の可能性がありますのでアフターサービス窓口にご連絡ください。
E0 E4	給水サーミスタの故障の可能性があります。	部品交換が必要な可能性がありますのでアフターサービス窓口にご連絡ください。
E5	給湯サーミスタの故障の可能性があります。	部品交換が必要な可能性がありますのでアフターサービス窓口にご連絡ください。

エラーコード	機器の状態	対処方法
E6	機器内部の圧力が異常上昇しています。	製品故障の可能性がありますのでアフターサービス窓口にご連絡ください。
E7	ヒーターが異常加熱している可能性があります。	製品故障の可能性がありますのでアフターサービス窓口にご連絡ください。
E8	電圧を間違えている、またはヒーターが断線している可能性があります。	200Vの機種に100Vを入れている可能性がありますので電圧を確認してください。 ヒーターが断線している場合は部品交換が必要になりますのでアフターサービス窓口にご連絡ください。
E9	電圧を間違えている可能性があります。	100Vの機種に200Vを入れている可能性がありますので電圧を確認してください。
EE E-	機器のプログラムエラーの可能性があります。	電源プラグを抜いて、再度差し込んだ後に運転スイッチを押してエラーをリセットし、もう一度運転スイッチを押して動作を確認してください。
EF	機器内部にエアが残っている可能性があります。	1分間程度水を流してから運転スイッチを押してエラーをリセットし、もう一度運転スイッチを押して動作を確認してください。

その他の表示について

上記のエラーコード以外にランプが点滅している等、通常運転状態とは異なる表示が出ている場合にはアフターサービス窓口にご連絡ください。

アフターサービス

消耗品について

下表に記載する部品は故障時に交換が可能な消耗部品です。劣化による動作不良などが起きた際に、弊社アフターサービススタッフにて交換を推奨している部品となります。

(機器内部は精密となっており、お客様ご自身での交換はできません。)

部品名	交換時期の目安	交換いただく理由
水量センサー	設置日より 5年～	長期間ご使用いただくことにより、経年劣化やスケール※による動作不良や漏水を起こす可能性があります。漏水が起きた場合大きな被害を与えることがありますので、交換することによりそれらを防止します。 ※水道水中のミネラル分が固着したもの。
安全弁		
ヒーターカートリッジ		
正面ケース	-	
操作液晶部		
本体取付具		

※上記以外でもパッキン類や電気部品の交換が必要になる場合や、水管などの樹脂成形部品がウォーターハンマーなどの外的要因によって破損した場合は水管ユニットの交換が必要になることがあります。

補修用性能部品について

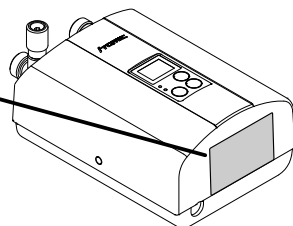
本製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後7年です。

修理をご依頼の際には

修理をご依頼されるときは、P.47の故障状況シートの必要事項にご記入いただき、お電話またはインターネット、FAXにてご連絡ください。(型番や製造番号等は本体貼り付けの保証票に印刷されていますので、故障状況シートへ転記してください。)

<EIX下面>

保証票		電気瞬間湯沸器	
型番		電源	
最高使用圧力		周波数	
伝熱面積		消費電力	
満水質量		屋内	
使用水压			
製造年月			
保証期間			
製造番号			
株式会社日本イトミック			
アフターサービス・お問い合わせ TEL 0570-011039			



アフターサービス窓口

TEL

〈全国共通ナビダイヤル〉



一般電話・公衆電話の場合(市内通話料金でご利用可能です)

0570-011039

ご連絡の際には使用製品の型番・製造番号等の情報をご用意ください。

受付時間:24 時間 365 日(営業時間:8:45～17:45)

一般電話・公衆電話の場合は市内電話料金でご利用可能、携帯電話からも接続可能です。

【ナビダイヤルに関するご注意】

※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。※電話窓口が混雑している場合、アナウンスが流れた後、話中の音が流れる場合があります。その場合には、時間をおいて再度おかけ直してください。※PHS、IP電話からはご利用になれません。その場合、以下の窓口にお問い合わせください。

関東地区のお客様：03(3621)2161**関東地区以外のお客様：表表紙記載の最寄りの営業所にお問い合わせください。**

インターネット

〈インターネット修理受付窓口〉

<https://www.itomic.co.jp/repair/>

インターネットのフォームにて修理のご依頼を受け付け致します。入力内容のご確認および訪問日のご調整のため、お申込み頂いた翌営業日に担当者よりご連絡を差し上げます。

FAX

〈FAX 修理受付窓口〉 **03-3621-2163**

FAX で修理のご依頼を受け付け致します。P.47 の故障状況シートに記載の上、最寄りの営業所へお送りください。(表表紙に記載)

故障状況シート	
貴 社 名	
ご担当者名	
ご 住 所	
T E L	
F A X	
製 品 型 番	
電 源 ・ 電 力	単相 V kW
製 造 番 号	
設 置 場 所	
保 証 期 限	
状 態	

【無料修理規定】

本規定は、保証票に記載された製品につき、納入から一定の期間内※に故障が発生した場合、下記記載内容に基づいて無料修理を行うことをお約束するものです。保証票に記載された製造番号をご提示の上、アフターサービス窓口にご依頼ください。

※：EIX本体＝3年　水栓および接続部材＝1年

1. 取扱説明書・製品本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障が発生した場合には無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、アフターサービス窓口にご依頼の上、修理に際して保証票に記載された製造番号をご提示ください。なお、遠隔地（離島および離島に準ずる遠隔地）への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は、事前にアフターサービス窓口にご相談ください。
4. 補償範囲は機能部とその付属品のみで、配管類は含みません。
5. 保証期間内でも次の場合は保証の対象とならず、有料修理となります。
 - （1）お客様が取扱説明書・本体貼付ラベル等に記載された手順・注意を守らなかったことによる不具合や、部品・湯槽内の清掃など日常のお手入れを行わなかったことによる不具合※1
 - （2）Oリング・パッキン類の摩耗・劣化による不具合や、電池の消耗による不具合
 - （3）工事要領に指示する方法に基づかない施工や工事設計による不具合※2
 - （4）輸送・搬入・移動の際の落下・転倒・接触等による不具合
 - （5）専門業者以外による移動・分解・修理・改造などによる不具合
 - （6）指定規格以外の電気（電圧・周波数など）の使用や電力契約の間違いによる不具合
 - （7）温泉水・井戸水など水道水以外の水を給水したことによる不具合
 - （8）設備側の排水不良等による冠水により生じた不具合
 - （9）電気・給水の供給トラブル等による不具合
 - （10）配管の錆・砂・ゴミ等異物の流入による不具合
 - （11）建築躯体の変化などに起因する不具合や、塗装の色あせなどの経年変化またはご使用に伴う摩耗等による外観上の不具合

- (12) 火災、爆発等の事故、地震・津波・噴火・風水害・雷などの天災や地変、煤煙、降灰、酸性雨、凍結、海岸付近や温泉地等の地域における腐食性の空気環境、ほこり、異常電圧、異常電磁波、ねずみ・鳥・昆虫などの動物の行為、または戦争・暴動など破壊行為による不具合
- (13) 保証票の提示が無い場合
6. 無料修理により交換された部品や製品は（株）日本イトミックの所有となります。
7. 製品の保証は日本国内におけるご使用の場合のみ有効です。
- ※1：日常のお手入れとはお客様ご自身で行えるもののほかに、設備業者や管理技術者に依頼が必要なものがございます。製品や部品によってお手入れ方法や時期が大きく異なりますので、温水器の取扱説明書やラベル等を必ずご確認くださいとともに、不明点はアフターサービス窓口にご相談ください。
- ※2：製品によって施工方法や注意事項が大きく異なりますので、施工時には工事要領を必ずご確認くださいとともに、不明点はアフターサービス窓口にご相談ください。

■お客様へ

1. 製品をお受け取りになる際は、製造番号が記載されている保証票が貼り付けられていることを確認してください。
2. 保証票の再発行はいたしません。
3. 機器が正しく運転しない場合や不調な場合は、修理ご依頼の前に「こんなときは」の項をご覧ください。
4. 無料修理期間経過後の故障・修理等につきましては、温水器等の取扱説明書「アフターサービス」の項をご覧ください。か、アフターサービス窓口までお問い合わせください。
5. 保証票によって、保証票を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

株式会社 日本イトミック

本社・営業本部 … TEL : 03 (3621) 2121 (代)
FAX : 03 (3621) 2130

〒131-0045 東京都墨田区押上 1-1-2
東京スカイツリーイーストタワー 24F

ホームページ <https://www.itomic.co.jp/>

《保守契約に関するご相談》

弊社製品を永くお使いいただくためにはメンテナンス契約が有効です。詳しくは下記の弊社リニューアル課までご連絡ください。

また、部品のご注文はアフターサービス窓口で承っています。

リニューアル課 … TEL : 03 (3621) 2760
FAX : 03 (3621) 2160

《修理に関するお問い合わせ》

ご連絡の際には使用製品の型番・製造番号等の情報をご用意ください。



一般電話・公衆電話の場合(市内通話料金でご利用可能です)

0570-011039

【ナビダイヤルに関するご注意】

※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。

※電話窓口が混雑している場合、アナウンスが流れた後、話中の音が流れる場合があります。

その場合には、時間をおいて再度おかけ直してください。

※PHS、IP電話からはご利用になれません。その場合には関東地区のお客様は以下の窓口、その他の地域のお客様は最寄りの営業所まで直接お電話ください。

関東地区 … TEL : 03 (3621) 2161
FAX : 03 (3621) 2163

《担当エリアと営業所》

北海道地区

北海道営業所

〒063-0801 北海道札幌市西区二十四軒 1 条 5-1-10 (ラポール 24 軒 2 号館)

担当エリア：北海道地区全域

TEL : 011 (615) 6681

FAX : 011 (615) 7004

東北地区

東北営業所

〒983-0014 宮城県仙台市宮城野区高砂 2-8-21

担当エリア：青森県／岩手県／秋田県／山形県／宮城県／福島県

TEL : 022 (357) 0848

FAX : 022 (357) 0847

関東・新潟・山梨・静岡地区

(株)日本イトミック 本社

〒131-0045 東京都墨田区押上 1-1-2 東京スカイツリーイーストタワー 24F

担当エリア：東京都／千葉県／埼玉県／茨城県／栃木県／群馬県／神奈川県／山梨県／新潟県／静岡県

TEL : 03 (3621) 2121

FAX : 03 (3621) 2130

中部・北陸地区

中部営業所

〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内 1-4-12 (アレックスビル 3F)

担当エリア：富山県／石川県／福井県／岐阜県／愛知県／三重県／長野県

TEL : 052 (222) 2561

FAX : 052 (222) 2559

近畿地区

関西営業所

〒541-0056 大阪府大阪市中央区久太郎町 3-1-11 VORT 御堂筋本町Ⅱ 7F

担当エリア：大阪府／京都府／滋賀県／和歌山県／奈良県／兵庫県

TEL : 06 (7177) 4949

FAX : 06 (7177) 4948

中国・四国地区

中国営業所

〒730-0051 広島県広島市中区大手町 2-3-9 (大手町中村ビル 2F)

担当エリア：鳥取県／島根県／岡山県／広島県／山口県／香川県／徳島県／愛媛県／高知県

TEL : 082 (240) 1361

FAX : 082 (240) 1363

九州・沖縄地区

九州営業所

〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵 3-28-5

担当エリア：福岡県／佐賀県／長崎県／大分県／熊本県／宮崎県／鹿児島県／沖縄県

TEL : 092 (481) 3911

FAX : 092 (481) 3930

※本書に記載の内容は、製品の改良や仕様の変更などにより予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。